

日本胎児心臓病学会スクリーニング委員会
秋田県アクション・プラン

秋田大学総合臨床教育研修センター
岡崎 三枝子

背景

秋田県における現在の胎児心疾患診療体制

秋田市内
二次病院小児科
小児循環器専門医 2名

秋田市内
開業小児科
小児循環器専門医 2名

秋田大学医学部附属病院

小児科

小児循環器専門医 1名(小児科)

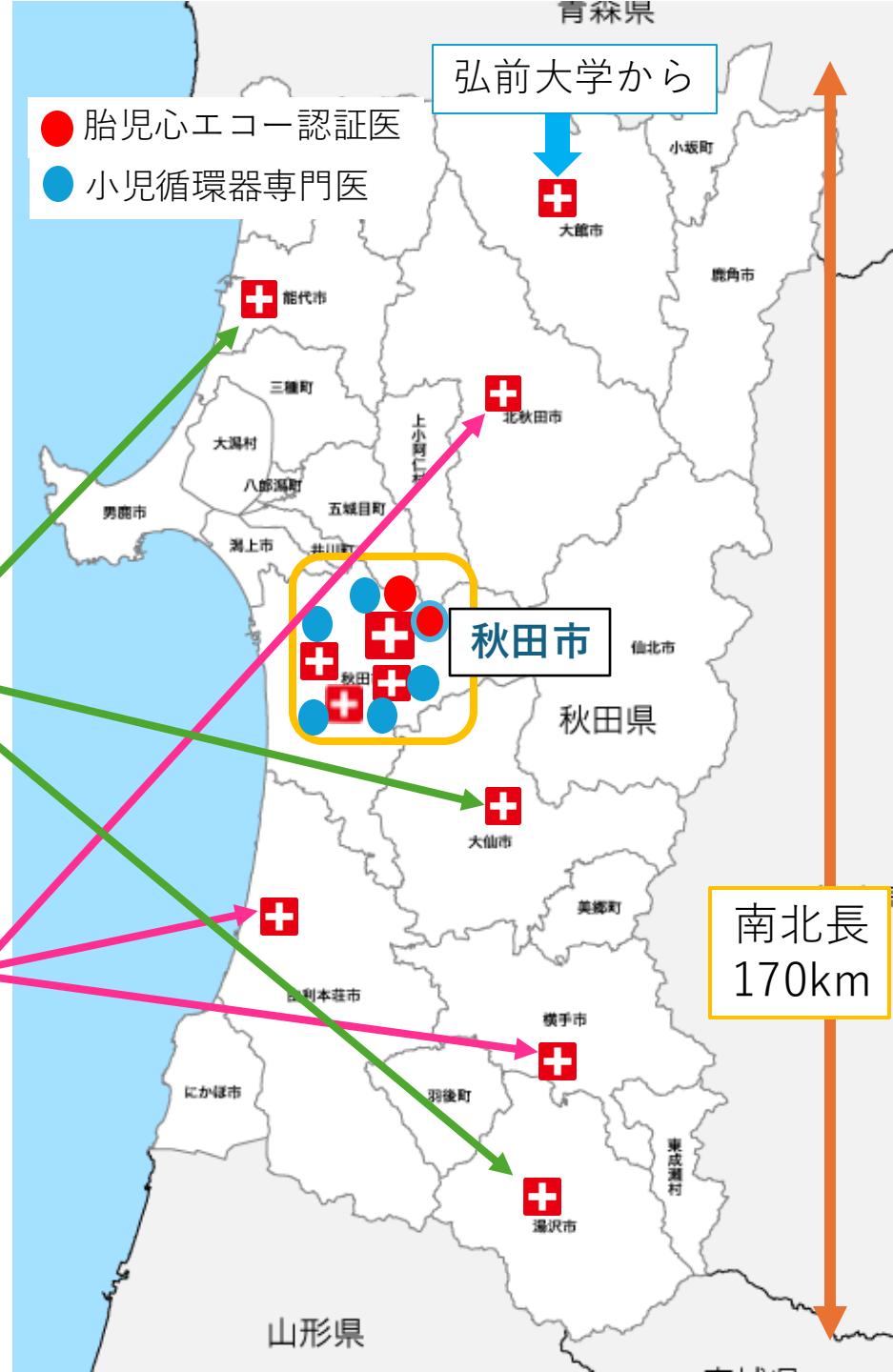
産婦人科

胎児心エコー認証医 1名(産科)

総合臨床教育研修センター

小児循環器専門医+胎児心エコー認証医
1名 (小児科)

- 秋田市以外に小児循環器専門医は不在
- 各二次施設産婦人科：胎児心エコー検査スクリーニング
→それぞれの施設の小児心臓外来へ精査を依頼



これまでの活動

妊婦健康診査項目

指定検査に胎児心エコー検査項目を順次導入

2009年

4CVを妊娠28-31週の補助券に導入（全市町村）

2014年

3VVを妊娠28-31週の補助券に追加（秋田市以外）

2015年

3VVを妊娠28-31週の補助券に追加（秋田市）

2016年

心臓の位置、軸、4CVを妊娠20-23週補助券に導入

妊婦一般健康診査受診票				
市町村名			左記妊婦の一般健康診査及び指定検査を依頼します。	
妊婦氏名				
委託医療機関の長様				
秋田県△△市町村長 ○ ○ ○ ○ 印				
-----切り取り-----				
市町村発行No.			世帯主名	
妊婦氏名	職業	生年月日	電話	
		年月日	()	
住 所				
受診時の妊娠週数（　　）週 出産予定日（　年　月　日）				
尿検査	蛋白 -・+・++	糖 -・+・++	血圧 ~	浮腫 -・+・++
指定検査				
超音波断層法（経腹）				
B P D	mm			
羊水ポケット	mm			
心臓の位置	確認の有無（有・無）			
心臓の軸	確認の有無（有・無）			
心臓の4CV	確認の有無（有・無）			
(1) 異常なし	(2) 要精密検査	(3) 要訪問指導		
(4) 要治療				
※上記(2)～(4)の場合、その内容 ()				
健診年月日 平成 年 月 日				
委託医療機関名				
医師氏名 印				

秋田県の問題点 ① ~2023年人口動態統計~

- ・婚姻率 : 2.5 24年連続全国最下位
- ・年間出生数 : 3611人 過去最少を更新中
- ・合計特殊出生率 : 1.10 過去最低 (全国 : 1.20)



人口減少は深刻。

これを改善できる見込みは、現時点では不明。

胎児心エコー検査を充実させ、生後失われる可能性のある命を救命していく。

秋田県の問題点 ②

妊娠数の減少 = 経験できる胎児心疾患の減少

- ・ 胎児心エコー認証医の育成・経験数増加が困難
- ・ 胎児心エコー認証医のレベルアップに課題

胎児診断のついた妊婦さんに、

複数回のレベルII胎児心エコーをさせていただく…?

教育・認証医取得のための胎児心エコー検査は、

妊婦さんの同意があればいい?ボランティアを募る?

臨床として、研究として…？

実は今…

教育センター所属となり、

① 大学病院での小児循環器診療から離れている。

→県内の胎児診断は大学産科からの紹介がほとんど。

② 二次病院心臓外来を月5枠担当。胎児診断は数ヶ月に1例程度。

→大学小児循環器診療として胎児心臓外来を行うか

研究として胎児心エコーデータを積み上げていくか

アクションプラン

A. 秋田県周産期施設：胎児心エコー外来 2024年10月より開始

- ① 在胎20週前後の産科スクリーニング異常症例
- ② 小児循環器医・産婦人科医への胎児心エコー指導

今後の課題

B. 二次病院小児科にて胎児心エコー外来開設、または小児心臓外来紹介

- ① 在胎20週前後の全例妊婦さんへ胎児心エコー検査を順次導入
過去に経験あり、2回施行した症例は少数
- ② 在胎20週前後の産科スクリーニング異常・不明瞭症例のみを対象

C. 妊婦健診補助券の項目を「確認の有無」から「異常の有無」
に変更するよう働きかけていく